

1. 科目名 (単位数)	精神保健福祉実習指導Ⅱ (2 単位)		3. 科目番号	
2. 授業担当教員	三野 宏治			
4. 授業形態	講義、演習、討論	5. 開講学期	春期	
6. 履修条件・他科目との関係				
7. 講義概要	<p>精神保健福祉実習指導Ⅱは、実習指導Ⅰ、Ⅱ、Ⅲと精神保健福祉実習を軸として継続的に展開するよう構成されている。これらの授業の主な学習方法は、資料による情報収集、文献調査、グループ討議、ロールプレイ等多様な方法を用いて、社会福祉実践に必要な知識と技能の具体的な学習、また実習前・中・後指導を通じて、理論と実践との統合を図ることを目的としている。</p> <p>精神保健福祉実習指導Ⅱでは、ソーシャルワーク基礎実習の実施を軸として、実習実施、また実践に必要な援助技術及び関連技術について学習するとともに、ソーシャルワーク実習の実施に向けて課題の明確化、また課題達成に必要な知識及び技術について学習する。</p>			
8. 学習目標	<p>精神保健福祉実習指導Ⅱが終了した時点で、下記の目標を達成することが期待される。</p> <p>①実習計画の作成を通じて実習の目的を明確化、具体化できる。</p> <p>②ソーシャルワーク技術について理解を深め、実習における専門技術習得のための具体的方法について理解する。</p> <p>③記録について理解のうえ、適切な記録の記入ができる。</p> <p>④実習目標と実践を照合し自己評価して、自己の課題を明瞭に説明できる。</p> <p>⑤実習を総合的に評価し、課題を明確化、文書化できる。</p> <p>また、これらの達成を通して、精神保健福祉士が行うソーシャルワークに係る知識と技術について具体的かつ実際に理解し実践的な技術を体得し、精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得するための基礎を身に着ける。</p>			
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<p>課題 1: 実習施設の概要、実習計画の作成</p> <p>課題 2: ソーシャルワーク基礎実習の実施を踏まえて実習総括レポートの作成</p>			
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】</p> <p>一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『ソーシャルワーク実習指導・実習 (精神保健福祉専門)』中央法規出版</p> <p>東京福祉大学『精神保健福祉実習の手引き』 ※講義にて配布</p> <p>東京福祉大学『社会福祉士・精神保健福祉士実習 学習の手引き』※講義にて配布</p> <p>【参考書】</p> <p>精神保健医療福祉白書編集委員会編集『精神保健医療福祉白書』中央法規出版</p>			
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <p>1、実習に向けて必要になる事前知識を身に付けることができたか。</p> <p>2、実習に必要な書類の準備ができたか。</p> <p>3、実習後に実習で気づいた自己の課題と学びを言語化できるか。</p> <p>○評定の方法</p> <p>1、実習に伴う提出物 30%</p> <p>2、課題 1 と 2 40%</p> <p>3、授業への積極的参加態度 30%</p>			
12. 受講生へのメッセージ	<p>本科目では、学生個人の思考力、創造力、問題解決能力を養成し、より実践的な技術、知識を得ることを目的としている。目的達成のため、受講生は以下の条件を守ること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業中は、常に高い緊張感と、集中力を保って受講すること。学生には積極的な態度を望む。 2. 自ら進んで教員に質問すること。理解できないことをそのまま放っておかないこと。 3. 欠席、遅刻、早退をしないこと。欠席、遅刻、早退をした場合はその理由を必ず教員に書面をもって報告すること。 4. 明らかに授業態度が悪いと判断された際は、厳格な指導を行う。指導後も授業態度の改善が見られない場合、たとえ皆出席であっても F 評価になるので注意すること。 5. 授業中、私語、居眠り、携帯電話等の操作は絶対にしないこと。 <p>教員は以下のことを実行する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業の目的、目標を明確にし、授業の進行はシラバスに沿って行う。 2. 受講生全体に聞こえる大きさの声で話しをするとともに専門用語はわかりやすく説明する。 3. 一方通行の講義だけを行うのではなく、ディスカッションを行いながら、学生が積極的に授業に参加 (発言、発表等) できるよう双方向対話型の学習環境を作る。 <p>遅刻、早退、授業中の居眠り、私語、携帯電話の使用等、授業に臨むうえで不適切な態度が見受けられた場合は、厳格に対処する。</p>			
13. オフィスアワー				
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容		学習課題	
第 1 回	<ul style="list-style-type: none"> ・精神保健福祉実習指導Ⅰの振り返りと確認 ・精神保健福祉実習指導Ⅱの講義内容、進め方の説明 ・実習までの流れの説明 		事前学習	精神保健福祉実習指導Ⅰで学んだこと振り返る
			事後学習	実習に向けての自己の課題を書き出す

第2回	・ソーシャルワーク基礎実習、実習計画の作成① ：ソーシャルワーク基礎実習の目的と実習の全体像についての内容を確認 ：実習生、実習担当教員、実習先の実習指導者との三者協議を踏まえた実習計画作成の意義と方法	事前学習	「実習の手引き」に目を通す。
		事後学習	授業での学びをまとめる
第3回	・ソーシャルワーク基礎実習、実習計画の作成② ：自己の実習の意義と目的を再確認する ：実習計画の作成と添削 ※ソーシャルワーク基礎実習開始前までに実習指導Ⅱ担当教員から添削指導を受けた実習計画を実習指導者へ提出、協議を行う。	事前学習	実習で学びたいことを言語化する
		事後学習	実習計画の修正、完成させる、実習指導者からの指導を受けるためのアポイントメントをとる
第4回	・スーパービジョンと巡回指導の理解 ：スーパービジョンについて理解する ：巡回指導の目的と内容を理解する	事前学習	テキスト該当項目を熟読する
		事後学習	授業での学びと気づきをまとめる
第5回	・「実習記録ノート」への記録内容及び記録方法の確認と実践 ・「実習記録ノート」の取り扱いに等について確認	事前学習	実習指導Ⅰで学んだ記録の書き方を振り返る
		事後学習	実習記録の模擬的作成
第6回	・実習における個人のプライバシー保護と守秘義務の確認 ・精神保健福祉士に求められる職業倫理と法的責務の確認	事前学習	実習指導Ⅰで学んだ該当項目を振り返る
		事後学習	授業での学びと気づきをまとめる
第7回	・ソーシャルワーク基礎実習に向けて最終確認：自己、緊急時対応、保険、注意事項、評価、記録の提出等について確認 ・実習における契約構造の説明と実習生の義務、権利について確認	事前学習	「実習の手引き」を熟読し、実習中の留意事項を確認する、不明な点を下記だし授業時に質問する準備をする
		事後学習	授業での学びと気づきをまとめる
第8回	・ソーシャルワーク基礎実習の振り返り：実習記録や実習体験を踏まえた課題の整理と実習総括レポートの作成	事前学習	お礼状の郵送、実習記録の整理
		事後学習	課題2の作成
第9回	・実習の評価全体総括会（実習成果発表会①）	事前学習	報告のための資料準備
		事後学習	授業での学びと気づきをまとめる
第10回	・実習の評価全体総括会（実習成果発表会②）	事前学習	報告のための資料準備
		事後学習	授業での学びと気づきをまとめる
第11回	・精神保健福祉実習の目的と内容の理解：精神保健福祉実習の全体像と目的、課題についての理解	事前学習	「実習の手引き」の該当項目を熟読する
		事後学習	授業での学びと気づきをまとめる
第12回	・精神保健福祉実習の実習計画の作成と添削①：「実習プログラムシート」の理解と活用	事前学習	「実習の手引き」の該当項目を熟読する
		事後学習	授業での学びと気づきをまとめる
第13回	・精神保健福祉実習の実習計画の作成と添削② ※精神保健福祉実習開始前までに実習指導Ⅱ担当教員から添削指導を受けた実習計画を実習指導者へ提出、協議を行う。	事前学習	実習計画の修正
		事後学習	実習計画を修正し完成させる
第14回	・ソーシャルワーク基礎実習の評価：実習における評価の意義、自己の課題の明確化	事前学習	ソーシャルワーク基礎実習の評価を振り返る
		事後学習	授業での学びと気づきをまとめる
第15回	・学習のまとめ	事前学習	実習計画における実習指導者の指導をまとめる、必要に応じて計画の再作成。
		事後学習	精神保健福祉実習指導Ⅱで学んだことを振り返る